

講座名：言語科学研究

注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

令和8年度(2026年度)前期2年の課程 (春季)	志望講座	言語科学研究
------------------------------	------	--------

次に挙げるトピックの中から一つを選択し、それについて日本語または英語で書かれた論文（学術雑誌に掲載されたものに限る）を一本選んで、次の要領で論述しなさい。

1. 論文執筆者名、論文タイトル、刊行年、雑誌名、巻号、ページ番号を明記する
2. はじめに、1～2 ページ程度で内容を要約する
3. 続けて、1～2 ページ程度で論文の内容を批判的に検討する

（批判的というのは否定的という意味ではなく、論理的かつ客観的に長所と短所を記述することです）

なお、回答は日本語または英語で書きなさい。

トピック

- (1) 格の交替現象
- (2) 会話における話者交代
- (3) バイリンガル単語認識におけるセンスモデル
- (4) 文法指導
- (5) プロソディー

令和8年度(2026年度)前期2年の課程 (春季)	志望講座	言語科学研究
------------------------------	------	--------

Choose an article written in English or Japanese from an academic journal that relates to one of the topics below and discuss as follows:

1. Specify the author name(s), year, title of article, name of journal, volume number, and inclusive page numbers.
2. Summarize the article in 1-2 pages.
3. Then, write a critical review of the article in 1-2 pages. ('Critical' does not mean 'negative'; evaluate the article in a logical and objective way by identifying the strengths and weaknesses of the arguments.)

Write your answer in English or Japanese.

Topics

- (1) Case alternation phenomena
- (2) Turn-taking in conversation
- (3) The sense model of bilingual word recognition
- (4) Grammar instruction
- (5) Prosody